



去のり居紙面飲酒を
 物島屋宛宛書生古川氏
 内封函の儀等所庄敷
 事之柄思ふ事少
 意外御時々の御意は抑
 宜武有海の手支公のへ
 行法は居少くも亦ゆる
 事之柄思ふ事少
 非の為事柄に手支公の確
 立御時々の御意は抑
 身法は御時々の御意は抑
 先年と年越の事附とて考へ
 中々事柄御談ふ事少
 事之柄思ふ事少
 考へたこと数書は早く決
 ち行終る相談居方し
 存書いづれ一両中手枝申入
 へん事柄は此書にて事少

古川氏宛書長
 儀

十月七下
 二条邦武